

令和 7 年度決算の状況

1 決算の状況

(1) 収支・・・当期純損益は 5 億 3,900 万円の赤字 (a 列 20 行目)

令和 7 年度予算においては、4,700 万円の黒字 (b 列 20 行目) を見込んでおり、その予算に対して 5 億 8,600 万円の悪化 (c 列 20 行目) となった。

令和7(2025)年度 損益計算書

(単位: 百万円)

		a	b	c	d	e	
科 目		決算額	予算額	対予算比較(a-b)	前年決算額	対前年比較(a-d)	
				差引増減		差引増減	
1	営業収益	14,929	16,489	▲1,560	14,797	133	1
2	医業収益	13,636	15,405	▲1,769	13,756	▲120	2
3	入院収益	8,702	10,336	▲1,633	8,818	▲116	3
4	外来収益	4,626	4,748	▲122	4,638	▲12	4
5	その他医業収益	307	321	▲14	300	7	5
6	補助金等収益	231	20	211	22	208	6
7	その他営業収益	1,063	1,064	▲1	1,018	45	7
8	営業費用	14,953	15,839	▲886	14,710	243	8
9	給与費	7,613	7,852	▲239	7,323	290	9
10	材料費	4,201	4,861	▲660	4,294	▲93	10
11	経費	2,172	2,157	15	1,998	174	11
12	減価償却費	928	930	▲2	1,053	▲125	12
13	研究研修費	39	39	▲0	42	▲3	13
14	営業損益	▲23	650	▲673	87	▲110	14
15	営業外収益	232	208	24	214	18	15
16	営業外費用	740	810	▲70	743	▲3	16
17	経常損益	▲531	48	▲579	▲443	▲88	17
18	臨時利益	0	0	0	1	▲1	18
19	臨時損失	8	1	7	1	7	19
20	当期純損益	▲539	47	▲586	▲443	▲96	20

(2) 資金・・・期末残高は 22 億 1,700 万円 (期首残高 27 億 8,400 万円)

期首残高から 5 億 6,700 万円の減少となった。

2 赤字の主な要因（対予算）

(1) 入院収益の減収

患者数が減少し、病床稼働率が目標値である 90%に届かなかったことによる（病床稼働率 76.2%）

【対予算▲16 億 3,300 万円】

(2) 外来収益の減収

患者数が減少し、目標値である 1 日平均患者数 900 人に届かなかったことによる（1 日平均患者数 819.8 人）

【対予算▲1 億 2,200 万円】

3 予算との主な乖離状況

(1) 収益

- ・入院収益・・・患者数が減少し、診療単価も減少したことにより減収

【対予算▲16 億 3,300 万円】

患者数減による減収 ▲15 億 8,800 万円

診療単価減による減収 ▲4,500 万円

- ・外来収益・・・患者数が減少した一方、診療単価の増加により外来収益の減少を最小限に抑えた

【対予算▲1 億 2,200 万円】

患者数減による減収 ▲4 億 4,100 万円

診療単価増による増収 +3 億 1,900 万円

- ・補助金等収益・・・物価高騰対策や賃上げを目的とした補助金により増収

【対予算+2 億 2,900 万円】

- ・その他医業収益・・・公衆衛生活動収益等の減少により減収

【対予算▲1,400 万円】

(2) 費用

- ・給与費・・・予算策定時に見込むことが困難な育休取得職員の発生等による

【対予算▲2 億 3,900 万円】

- ・材料費・・・医業収益の減少に伴って、薬品費や医療消耗品費等が減少したことによる

【対予算▲6 億 6,000 万円】